

鐘楼

伊勢崎市立北小学校学校運営協議会だより 第14号

(本年度1号)

令和3年9月1日 伊勢崎市立北小学校学校運営協議

北小学校ホームページアドレス：<http://www.isesaki-school.ed.jp/kitasyo/>

☆令和3年度の北小学校学校運営協議会について☆

北小学校運営協議会の情報を発信するこの「鐘楼」もスタートして8年目となります。この間、北小学校の学校運営協議会の取り組みを地域や家庭に発信してきました。地域の方や保護者の方からは「委員の顔も分かるし、どんなことをしているのかも分かるのでよいと思う。」などのご感想を聞かせていただくこともあり、今後も、情報発信をしていきたいと考えています。どうぞ、本年度もよろしく願いいたします。

さて、本年度の北小学校学校運営協議会も年4回の会合を持ち、北小学校の児童の健やかなる成長を支援すべく、校長先生を始めとする学校の先生方と手を合わせ、活動を進めていきたいと考えています。主な予定は、次のように考えています。

- ①協議会の委員を2班に分け、北小学校の児童や家庭の実態を踏まえた課題について、どんなことができるのかを協議する。
- ②昨年度まで行っていた「いじめ防止カレンダー」作成の継続
- ③昨年度作成した「安全意識の醸成啓発リーフレット」(右)の効果的な活用方法の検討 など

こういった活動を進めるとともに、この「鐘楼」から、委員のメッセージも発信させていただきたいと考えていますので、ご高覧いただければ幸いです。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される中、まずは児童の健康面の安心・安全が一番です。学校運営協議会としても、北小学校のコロナ対策についても報告を受け、しっかりと見守っていききたいと考えています。地域や保護者の皆様も、どうぞコロナ対策をしっかりとされ、児童の健やかなる成長と安心・安全を見守っていただきますようよろしくお願いいたします。



～ 本年度の北小学校運営協議会委員です。どうぞ、よろしくお願いいたします。～ (50音順)

会長 芝崎和子 (曲輪町3区区长) 副会長 山田千広 (北小PTA会長)

委員 阿久津雅美 (伊勢崎市立第一幼稚園園長)

新井悦子 (北地区子ども育成会副会長)

新井恵子 (放課後子ども教室コーディネーター)

佐藤昌弘 (北公民館長)

高橋香澄 (北小PTA副会長)

高橋 望 (群馬大学大学院准教授)

橋本千代子 (北地区民生児童委員)

平岡さつき (共愛学園前橋国際大学教授)

本堂晴生 (NPO法人Gコミュニティ代表理事)

新井俊一 (北小学校校長)

オブザーバー 佐藤佐知子 (北第二小学校校長)



【裏面に続きます】

★第2回の学校運営協議会では、北小学校の先生方と懇談会を行いました★

7月27日（火）の午前10時から、赤石楽舎会議室と北小学校の幾つかの教室をお借りして、先生方と懇談会を行いました。

委員・先生ともに5つの班に分かれ、「児童の生活・安全」「児童の心や社会性の育成」の2つのテーマで、意見交換を行いました。先生方から、北小学校の教育活動や児童の様子についてお聞かせいただき、委員からも意見等を出させていただきました。主な内容は下記の通りです。



<児童の生活・安全について>

- オンラインゲームなどは複数人が参加しているため、自分の意志でやめることが難しいようなこともある。情報モラル教育の必要性を強く感じる。また、家庭との連携が不可欠である。
- 登下校時に道幅いっぱい広がって歩いている様子もまだまだ見られる。指導の継続が必要。
- 児童の送迎の交通安全のマナーも大切にしていきたい。特に、朝は、交通量が多く危険。路上に停車し児童を降ろしている人もいるので、保護者の方には、協力していただきたい。
- 交通ルール、マナーについては、言われたからやるのではなく、児童自身“何故しなければならないのか”を考えられるようにすることが大切だし、思いやりの心の育成にもつながると思う。
- YOUTUBEを自分で配信している子もいる。スマホなどでのトラブルも増えている。家庭環境が関係しているので働きかけが難しい。
- ネットゲームについては、やらせないのではなく、自分で歯止めを利かせられるようにする指導も大切。ネットゲーム以外に打ち込めるものを見つけやすくする環境作りなども必要ではないか。
- 朝食をとる習慣はほとんどの児童であるが、一人で食べる児童もいる。

<児童の心や社会性の育成について>

- ICTの普及に伴い、対人スキルの低下が危惧される。ソーシャルスキルトレーニングなどで、自分の気持ちを伝える、相手の立場に立つなどの経験を意図的にさせていくことも大切。また、低学年から一つ一つ丁寧に指導することも必要だし、子どもの特性に合わせて段階的に指導していくことも必要である。
- 北小の児童は挨拶がよくできると感じる。挨拶については、大人が積極的に声をかけていきたい。
- 自分から進んで朝の挨拶運動に参加する児童がいる。一方では、知らない人に挨拶をすると危険という考えもあるようだ。旗振りや、大人が挨拶をしても返さない子が気になる。
- 保護者とのつながりを持ち、学校だけでは見られない部分も把握できるようにすることが大切。
- 読み聞かせは想像力を育む貴重な体験だと考える。また、まわりの子から褒められることで自己肯定感が高まっていくので、そういった活動を取り入れていって欲しい。



まだまだ、沢山の意見が出されました。こういった中で、学校で抱えている問題や児童の健全育成における課題などが、少しずつですが見えてきました。

本年度は、こうしたことを参考にしながら、学校運営協議会の活動が進められればと考えています。